

《沖縄協同病院の理念》

- 患者様に信頼され、質の高い安全・安心な医療をめざします。
- 人権を尊重し、納得のいく説明と同意、情報開示を提供します。
- 地域と連携し、総合的な医療・福祉・介護の提供に努めます。



沖縄協同病院・病院広報委員会

那覇市古波蔵4丁目10番55号

TEL.(098)853-1200

FAX.(098)853-1212

http://oki-kyo.jp

発行責任者 仲程正哲

シリーズ 病院機能評価受審への取り組み⑧ 最終回

機能評価受審を終えて

病院機能評価 Ver6.0 の訪問審査が、3月3日～5日にかけておこなわれ、私たちの医療の中身を客観的に評価してもらいました。病院機能評価受審は、私たちの医療をあらためて見つめなおす絶好の機会となりました。審査後の講評では、“チーム医療”に対し高い評価を受け、1ヶ月後にある中間結果報告が楽しみです。受審後も、地域・組合員の皆様に、安全・安心のより良い医療サービスをめざし、継続的に取り組んでいきたいと考えています。



病院機能評価受審委員会 宮平 守

東日本大震災

第1陣支援団

(3月14日～21日)

「報告集会」開かれる



被災の生々しさ、支援の緊急性を報告

現地にたどり着くまでも大変な状況の中で、1週間にわたって救援してきた第1陣支援団の報告集会が開かれました。被災地宮城県の生々しい報告は、毎日のテレビやニュース以上に深刻な現状でした。長期の支援が必要だということを確認できました。

また院内の救援募金は3月31日現在1,142,421円です。引き続きご協力ください。

新年度スタート



組合員の皆様、職員の皆さんこんにちは。今回の大震災で家をなくしたり家族を亡くしたりと多くの人たちが大変な状況に遭遇しています。心よりお見舞い申し上げます。協同病院も早速、救援隊を被災地に派遣して微力ながら救援活動を行っています。今後長期に支援が必要と考えます。全国の民医連の仲間と連帯して頑張っていきたいと思えます。

さて新病院は今年6月で3年目を迎えます。依然として経営は厳しい状態ではありますが改善されつつあります。医療活動はますます前進しています。新入院患者数は月600人を超過し、救急車も年間3000件を超す勢いです。在院日数も13日前後となり職員の多忙さは以前とは比較にならないくらいです。しかし新聞報道でもあるように昨年末から救急受診者が急増し、当院でも入院ベッドが足りず救急車の受け入れが困難となり組合員の皆様にご迷惑をかけております。

急性期を担う病院として、現在のベッド数280床では足りず、今後は増床を本格的に検討する必要があると考えます。組合員の皆様の支援が何より力になります。どうぞ宜しくお願い致します。

院長 仲程 正哲

病院の活動状況

<2月度>

- ・外来一日平均患者数：792人
- ・入院一日平均患者数：283人
- ・組合員利用率：53.4%(前月比+3.8%)

睡眠時無呼吸について④

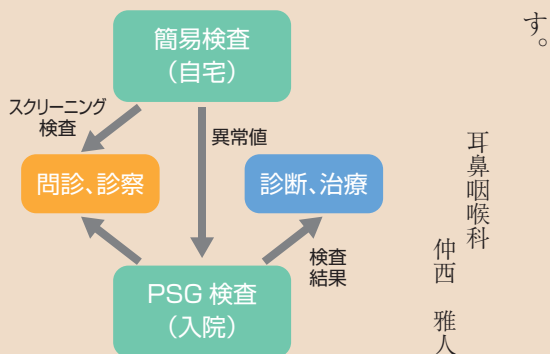
耳鼻咽喉科 検査



睡眠時無呼吸症候群の検査

睡眠時無呼吸症候群を診断するには、専門施設に入院して検査する必要があります。しかし、入院検査という抵抗があったり、時間がないというところもあると思います。そのため、簡易検査といって検査機器を自宅に持ち帰り、まず睡眠時無呼吸症候群の可能性があるかどうかを検査し、簡易検査にて異常値が出た場合に、詳しく入院検査を行うこともできます。では具体的に検査のお話をしましょう。

睡眠時無呼吸症候群を診断するための検査を「終夜睡眠ポリソムノグラフィー検査(以下PSG検査)」といいます。睡眠の質や無呼吸の有無など、寝ている間の体の状態を調べる検査です。個室に1泊入院してもらって、さまざまなセンサーを体に取り付けて睡眠中のデータを一晩中取り続けます。睡眠の状態をみるための脳波、目の動きを見るための眼電図、筋肉の緊張を見る筋電図、いびきの音を感じるマイク、無呼吸などの呼吸の状態を感じるセンサー、体の酸素の状態を調べるセンサー、胸や腹の動きを見るセンサー、寝ている時の体位を感じるセンサー、心電図、などです。このようなさまざまな検査データから診断していきます。



次回治療についてお話しします。

耳鼻咽喉科 仲西 雅人



めぐみの会

新年会



去る2月25日(金)豊見城「とよの屋」にて、めぐみの会(SLE患者会)新年会を行いました。患者と病院スタッフ9名が参加しました。

乾杯の挨拶で始まり、新しいスタッフの紹介や個々の現状報告、新年の抱負などを語り合い楽しい一時を過ごしました。

会の活動としては、昨年できなかった勉強会と、秋に伊是名への一泊旅行の案がたので、実現に向けて取り組みたいと思います。

少人数の会ですが、今後も活動が継続できますように、皆様のご協力を宜しくお願いします。

めぐみの会 親泊 晶子



虹の箱とは患者さまの声を医療活動に反映させていくための投書箱です。

ご意見・ご要望

入院した時、床の上にちらばった長い髪の毛がたくさんあり気持ちわるかった。衛生面が、大丈夫か不安に思った。

2011年02月14日(月) 4階病棟より

ご返事

部屋の掃除が行き届いておらず、ご迷惑をおかけし申し訳ございませんでした。

再度、従業員一同、清掃の基本を指導して参りたいと思います。貴重なご意見心より感謝致します。ありがとうございます。

清掃担当 城間 勇樹

のぞみの会

春のつどい



去る3月23日、都ホテルでリウマチ患者様の「のぞみの会・春のつどい」が開催され、患者様・職員合わせて20名ほどの参加でした。

和服姿の原国先生によるかぎやで風に続き、患者様のカラオケや詩吟で大いに盛り上がりました。リハビリの宮城さんが考案した関節運動をトトロの曲に合わせて行った後、全員でカチャーシーをしてお開きとなりました。

患者様は皆、外来や病棟では見ることの出来ない意外な一面を持っており、明るく楽しい食事会を通して、とても元気を頂きました。

8階看護師 三尾 早紀

2011年4月1日より外来体制が変わります

皮膚科

Table showing dermatology clinic hours by day and time (午前/午後).

《変更事項》

※第2・4週土曜日出来 ⇒ しばらく休診いたします。
※毎週木曜日午前外来 ⇒ 完全予約制外来ははじめます。

《受付時間》

午前 9:00~11:30/午後 13:30~16:00

整形外科

Table showing orthopedics clinic hours by day and time, including names of staff members.

《診療開始時間・受付終了時間》

午前 9:00~11:30/午後 14:00~16:00/夜間 18:00~20:00

※「予約」以外は従来と同じで受付した順に診療を行います。

上記科の他、内科・小児科・産婦人科・心療内科の外来体制も変わりました。

第3回 文化祭典



3月19日(土) 豊見城中央公民館にて



丘の一本松を熱演中の職員



さて、ルリハコベは私にとっては故郷へいざなう植物である。被災地も3月10日までは♪うさぎ追いかの山...♪だった。その故郷は地震と津波で流され、原発爆発で2週間たつてもなお放射性物質にさらされている。世界で唯一の被爆国が自国の原発爆発で被害者から完全に加害者になった。ドイツでは「大人になるといふことはファシズムの気配を感じた時にそれに反対できること」と聞いた。ナチスから学んだのである。が、世界には全く学ばない国もある。

とよみ生協病院 事務課長 金城稲子

おきなわの自然①

ルリハコベ

の春”を描き、文章を載せている。文中の「私たちは他人の幸せや喜びをねたおぼろげに落ちてはいない。皆さんどうぞ、我慢せずに楽しいときは笑い、嬉しいときは喜んでください。私たちも一日も早く皆さんに追いつきます。」という被災者の言葉には我を振り返る。

さて、その「足元の春」の絵の中に「ルリハコベ」がある。方言では「ミンナ」といい、今の時期はうんざりするほど畑を埋め尽くしている。沖縄のわらべ歌で「ベーベーめ草刈いが」の中に「ベーベーヌマサグサヤ ハルヌワカミンナ♪(山羊の好きな草は、畑の若いミンナ)」という歌詞がある。その歌のミンナは「ルリハコベ」と訳されているのが多いが、ルリハコベは昔、やんばるではその汁を魚毒に使ったという。私は小さい頃山羊の草当番だった。ルリハコベを山羊に与えたことはない。この歌のミンナは同じく方言でミンナと呼ばれる「ヤムグル」のことだろう。

上原和博先生が「今自分ができること」としてポスターを作った。もう、目にした人もいれると思うが、「東日本大震災被災者の心に寄り添います」という題で、足元